

背景・目的

多くの復興計画において、津波被害を軽減する機能を発揮する公園緑地の整備が検討されているが、地方公共団体にとって参考となる計画・設計等に関する技術的知見が整理されていない。また、地方公共団体が、災害廃棄物の迅速な処理のために、公園緑地の整備において災害廃棄物の有効活用を行う際の技術的知見の整理が望まれている。そのため、国において、『東日本大震災からの復興に係る公園緑地整備に関する技術的指針』を策定・公表し、被災した地方公共団体への技術的支援を行う。

◆ 東日本大震災で見られた公園緑地等の効果

□津波エネルギーの減衰

□漂流物の捕捉

□高台等の避難地



◆ 震災によって発生した災害廃棄物

□コンクリートくず、木くず及び津波堆積物



◆ 技術的指針の構成

1. 復興まちづくりにおける公園緑地等計画の基本的考え方

・公園緑地の津波災害に対する機能として、「多重防御の一つとしての機能」、「避難路・避難地機能」、「復旧・復興支援機能」、「防災教育機能」を位置づけ。

2. 公園緑地の計画・設計等の考え方

・津波シミュレーションによる樹林地等の津波エネルギー減衰機能について検証。

・津波エネルギーの減衰効果を発揮する樹林地等や避難路・避難地となる公園緑地の計画・設計等の技術的指針を整理。

・東北・北関東地方沿岸部における樹林地の整備のため潮風や海水の冠水に強い樹種を整理。

3. 公園緑地の整備における災害廃棄物の活用に関する基本的考え方

・公園緑地の整備において活用する災害廃棄物として、発生量が比較的多く汎用性のあるコンクリートくず、木くず、津波堆積物について、それぞれの活用の考え方と留意事項を整理。

復興段階に合わせた支援

H23年10月6日：東日本大震災からの復興に係る公園緑地整備の基本的考え方（中間報告）公表

H24年3月27日：東日本大震災からの復興に係る公園緑地整備に関する技術的指針 公表

被災都市の復興計画・事業計画等の検討に活用